

(平成25年3月18日時点)

日本がTPPに参加した場合の千葉県農業産出額への影響

単位: 億円

品目	H23 産出額	影響額 (推定)	推定 産出額	条件
耕種	2,971	▲ 391	2,580	耕種の合計。13%の減少。
米	730	▲ 363	367	県産米の約3割が外国産に置き換わる。残り約7割は、価格が26%低下。【産出額は50%減少】
麦類	1	▲ 1	0	差別化可能な小麦以外は外国産に置き換わるため、本県産は消滅。
雑穀	0		0	
豆類	71	▲ 27	44	「落花生」について、影響額を試算。
落花生	68	▲ 27	41	農林水産省が示した生産量減少率(40%)と同じ割合で減少。【産出額は40%減少】
いも類	209		209	
野菜	1,568		1,568	
果実	162		162	
花き	176		176	
工芸農作物	11		11	
その他作物	43		43	
畜産	1,034	▲ 628	406	畜産の合計。61%の減少。
肉用牛	46	▲ 32	14	肉質3等級以下(全体の75%)の牛肉の9割が外国産に置き換わり、その残り1割(下落率14%)と全体の25%を占める4、5等級の牛肉(下落率7%)は価格が低下。【産出額は70%減少】
乳用牛	262	▲ 262	0	本県の生乳生産が消滅するため、「乳牛」も消滅。
生乳	240	▲ 240	0	北海道の乳製品向け生乳が本県の飲用向けに供給され、本県の生乳生産は消滅。【産出額は100%減少】
豚	347	▲ 272	75	銘柄豚肉以外の豚肉(全体の70%)が外国産に置き換わり、残る銘柄豚は価格が低下(下落率28%)。【産出額は78%減少】
鶏	365	▲ 62	303	影響額は鶏卵とブロイラーの合計。【生産額は17%減少】
鶏卵	322	▲ 55	267	農林水産省が示した生産量減少率(17%)と同じ割合で産出額が減少。
ブロイラー	34	▲ 7	27	農林水産省が示した生産量減少率(20%)と同じ割合で産出額が減少。
その他畜産物	13		13	
加工農産物	5		5	
合計	4,009	▲ 1,019	2,990	1/4程度の減少。

※ 農林水産省が公表した「農林水産物への影響試算の計算方法について」を参考に本県の農業産出額への影響を試算。

※ 計と内訳が一致しないのは、表示単位を四捨五入したため。

前回試算からの変更ポイント

- ① 農業産出額は、直近データを使用した(前回試算では、平成20年 4, 216億円)
- ② 県産農産物が外国産に置き換わる割合は、国の試算に準じた

(平成25年3月18日時点)

日本がTPPに参加した場合の千葉県林業・水産業生産額への影響

単位:億円

【林産物】

品目名	H22 産出額	影響額 (推定)	推定 産出額	試算の条件
合板等	66	▲4	62	農林水産省が示した生産減少率(6%)と同じ割合で生産額が減少。

【水産物】

品目名	H22 生産額	影響額 (推定)	推定 生産額	試算の条件
あじ	17	▲8	9	農林水産省が示した生産減少率(47%)と同じ割合で生産額が減少。
さば	20	▲6	14	農林水産省が示した生産減少率(30%)と同じ割合で生産額が減少。
いわし	46	▲21	26	農林水産省が示した生産減少率(45%)と同じ割合で生産額が減少。
ほたてがい	-	-	-	本県での生産はほとんど無い。
たら	-	-	-	本県での生産はほとんど無い。
いか・干しするめ	18	▲8	11	農林水産省が示した生産減少率(41%)と同じ割合で生産額が減少。
こんぶ・こんぶ類 製品	-	-	-	TPP交渉参加国から輸入実績がほとんどないことを考慮。
干しのみ・無糖の り・のみ調製品	42	-	42	TPP交渉参加国から輸入実績がほとんどないことを考慮。 生産額はのみ類養殖の値。
かつお・まぐろ 類	12	▲3	9	農林水産省が示した生産減少率(27%)と同じ割合で生産額が減少。
さけ・ます類	-	-	-	本県での生産はほとんど無い。
うなぎ	-	-	-	TPP交渉参加国から輸入実績がほとんどないことを考慮。
わかめ	-	-	-	TPP交渉参加国から輸入実績がほとんどないことを考慮。
ひじき	-	-	-	TPP交渉参加国から輸入実績がほとんどないことを考慮。
合計	283	▲46	237	生産額は16%の減少

* 農林水産省が公表した「農林水産物への影響試算の計算方法について」を参考に本県の林業・漁業生産額への影響を試算。

前回試算からの変更ポイント

①合板等産出額、水産業生産額は直近データを使用